

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 11 日(2024.7.11)

【公開番号】特開 2023-21752(P2023-21752A)
【公開日】令和 5 年 2 月 14 日(2023.2.14)
【年通号数】公開公報(特許)2023-029
【出願番号】特願 2021-126816(P2021-126816)
【国際特許分類】

F 1 6 F 15/139(2006.01)

10

F 1 6 F 15/134(2006.01)

F 1 6 H 35/10(2006.01)

【F I】

F 1 6 F 15/139 D

F 1 6 F 15/134 B

F 1 6 F 15/134 D

F 1 6 H 35/10 H

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 3 日(2024.7.3)

20

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明の課題は、摩擦材の内周面上に水が溜まりにくくすることによって、摩擦材の摩擦特性を安定させることにある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この構成によれば、第 1 摩擦材の内周面上に溜まった水は、第 1 排水溝を介して外部へと排出することができる。このため、第 1 摩擦材の内周面上に水が溜まりにくくなり、第 1 摩擦材の摩擦特性を安定させることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

好ましくは、第 2 サイドプレートは、複数の第 2 排水溝を有する。各第 2 排水溝は、第 2 接触面上において周方向に互いに間隔をあけて配置されている。第 2 排水溝は、径方向に延びる。この構成によれば、第 2 摩擦材の内周面上に溜まった水は、第 2 排水溝を介して外部へと排出することができる。このため、第 2 摩擦材の内周面上に水が溜まりにくくなり、第 2 摩擦材の摩擦特性を安定させることができる。